

ULTINA Internet

## DNS 代行オプション WEB インタフェース操作マニュアル

\* 本マニュアルに関するお問合せは、下記連絡先へお願いします \*

法人お客様センター

 0800-919-0043(無料) 平日 9:00~18:00

【Ver. 5.02】

2025/09/25

ソフトバンク株式会社

\* WEB インタフェース動作確認済みブラウザ \*

Google Chrome

※最新版をご利用いただけますようお願いいたします

※ブラウザのポップアップブロックを無効にしてください

※本マニュアルで記載のない機能についてはサポート対象外です

## 1. 『登録通知書』の内容確認

当社より、『登録通知書』をお客様へ送付します。登録通知書には次の内容が記載されております。

### 『登録通知書』

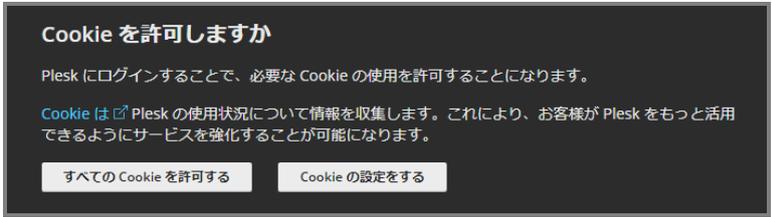
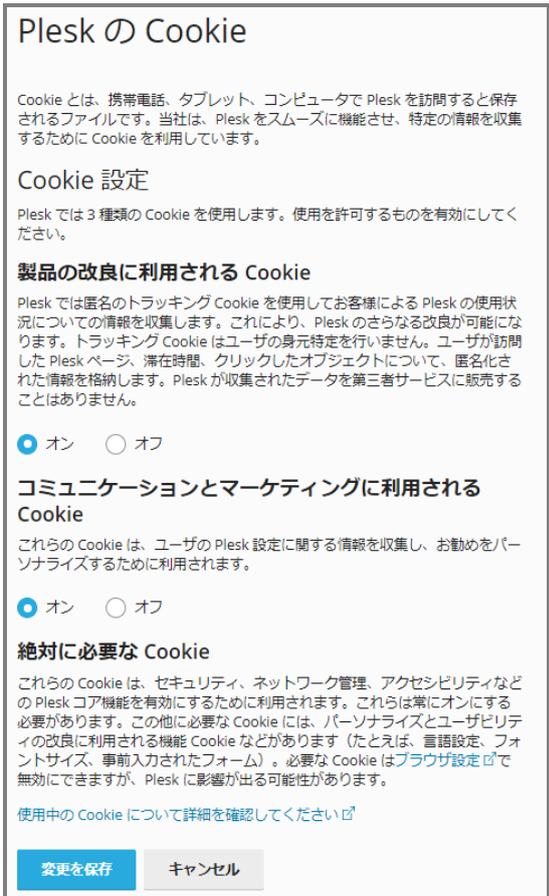
契約ドメイン名	: 申し込み頂いたドメイン名です
ログイン ID	: お客様管理者がご利用になる ID です
パスワード	: お客様管理者がご利用になるパスワードです
プライマリ DNS サーバ	: 当社管理ドメイン以外の場合、ドメイン管理事業者申請時に必要です
セカンダリ DNS サーバ	: 当社管理ドメイン以外の場合、ドメイン管理事業者申請時に必要です
管理サーバ URL	: WEB インタフェースにアクセスするための URL が記載されています
メンテナンス情報 URL	: DNS サービス機器のメンテナンス情報を掲載するホームページです

※『登録通知書』記載の「パスワード」は、セキュリティ確保の為、手順 3 を参考に必ず変更を行ってください。

※WEB インタフェースへは、弊社からの設定完了連絡後ログイン可能となります。  
それまではログイン出来ませんのでご了承ください。

## 2. Cookie の許可設定

管理画面にアクセスすると最初に Cookie の許可について確認する画面が表示されます。

 <p><b>Cookie を許可しますか</b></p> <p>Plesk にログインすることで、必要な Cookie の使用を許可することになります。</p> <p>Cookie は <input checked="" type="checkbox"/> Plesk の使用状況について情報を収集します。これにより、お客様が Plesk をもっと活用できるようにサービスを強化することが可能になります。</p> <p><input type="button" value="すべての Cookie を許可する"/> <input type="button" value="Cookie の設定をする"/></p>	<p>お客様ポリシーに従って、適切な設定をご選択ください</p>
 <p>ログイン</p> <p>Cookie</p>	<p>Cookie のはログイン画面の「Cookie」をクリックすると設定変更可能です</p>
 <p><b>Plesk の Cookie</b></p> <p>Cookie とは、携帯電話、タブレット、コンピュータで Plesk を訪問すると保存されるファイルです。当社は、Plesk をスムーズに機能させ、特定の情報を収集するために Cookie を利用しています。</p> <p><b>Cookie 設定</b></p> <p>Plesk では 3 種類の Cookie を使用します。使用を許可するものを有効にしてください。</p> <p><b>製品の改良に利用される Cookie</b></p> <p>Plesk では匿名のトラッキング Cookie を使用してお客様による Plesk の使用状況についての情報を収集します。これにより、Plesk のさらなる改良が可能になります。トラッキング Cookie はユーザの身元特定を行いません。ユーザが訪問した Plesk ページ、滞在時間、クリックしたオブジェクトについて、匿名化された情報を格納します。Plesk が収集されたデータを第三者サービスに販売することはありません。</p> <p><input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ</p> <p><b>コミュニケーションとマーケティングに利用される Cookie</b></p> <p>これらの Cookie は、ユーザの Plesk 設定に関する情報を収集し、お勤めをパーソナライズするために利用されます。</p> <p><input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ</p> <p><b>絶対に必要な Cookie</b></p> <p>これらの Cookie は、セキュリティ、ネットワーク管理、アクセシビリティなどの Plesk コア機能を有効にするために利用されます。これらは常にオンにする必要があります。この他に必要な Cookie には、パーソナライズとユーザビリティの改良に利用される機能 Cookie などがあります（たとえば、言語設定、フォントサイズ、事前入力されたフォーム）。必要な Cookie はブラウザ設定で無効にできませんが、Plesk に影響が出る可能性があります。</p> <p><a href="#">使用中の Cookie について詳細を確認してください</a></p> <p><input type="button" value="変更を保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/></p>	

### 3. 管理者初期パスワードの変更

- \* セキュリティ確保の為に、管理者初期パスワードの変更を行って下さい。
- \* 変更後のパスワードの管理には十分ご注意ください。
- \* 複数回ログインに失敗した場合、一定期間ログインが出来なくなりますのでご注意ください。

※本マニュアルにある「example.jp」部分は、実際の画面ではお客様の契約ドメイン名が表示されます。  
 ※本マニュアルは表示モード「アクティブリスト」で作成しております。表示モードの変更方法は手順 5 をご確認ください。

	<p>(1) WEB インタフェースへアクセス</p> <p>登録通知書の「管理サーバ URL」にアクセスしてください</p> <p><a href="https://web.vips.ne.jp:8443">https://web.vips.ne.jp:8443</a></p> <p>登録通知書に記載されたログイン ID (ユーザー名)とパスワードを入力後「ログイン」をクリックします</p>
	<p>(2) 「アカウント」タブをクリックします</p>

 <p>SoftBank</p> <p>アカウント情報とツール</p> <p>マイ・プロフィール</p> <p>プラン名 Default Domain</p> <p>セットアップ日 2021/10/12</p> <p>ステータス アクティブ</p>	<p>(3) 「マイ・プロフィール」をクリックします</p>
 <p>マイ・プロフィール</p> <p>一般情報</p> <p>担当者名 example.jp</p> <p>外部のメールアドレス * helpdesk@jens.jp</p> <p>Plesk プリファレンス</p> <p>ユーザ名 example.jp</p> <p>パスワード</p> <p>パスワードの確認</p> <p>Plesk 言語 日本語 (japan)</p> <p>OK 適用する キャンセル</p>	<p>(4) マイ・プロフィールを編集</p> <p>パスワード欄に新しいパスワードを入力してください</p> <p>パスワード確認欄に上で入力したパスワードを入力してください</p> <p>「OK」ボタンをクリックします</p> <p>※メールアドレスは初期値から変更されないようお願いいたします</p>
 <p>情報: プロファイルが更新されました</p>	<p>(5) 「プロフィールが更新されました」と表示がされましたら、パスワード変更完了です</p>

## 4. DNS の設定変更方法

### <DNS 初期情報>

#### ●DNS設定情報(初期値)

##### ・SOALレコード初期値

TTL ※1	1日	→DNS情報の有効期限
更新	3時間	→セカンダリDNSからの問合せタイミング
再試行	30分	→セカンダリDNSが問合せできなかった場合の再問合せ
Expire(有効期限) ※2	2週間	→プライマリDNS機能停止からのセカンダリDNS有効期限
Minimum(最小値)	1時間	→ネガティブキャッシュ時間

※1…… TTLの最小値は10分(600秒)で設定をお願いいたします

※2…… Expire を2週間未満に設定された場合、当社仕様により2週間へ強制的に変更されます

##### ・レコード初期値

NS	ns00.vips.ne.jp.	→弊社プライマリDNSサーバ
NS	ns01.vips.ne.jp.	→弊社セカンダリDNSサーバ

### <登録可能なレコード>

#### ●A レコード、AAAA レコード、CNAME レコード、MX レコード、TXT レコード、SRV レコード、NS レコード、CAA レコード

※PTR レコード、DS レコードが選択肢に表示されますが、利用することは出来ません

※TXT レコードの文字数は最大 512 文字までとなります

※「ns.契約ドメイン名」の CNAME は WEB インタフェースの仕様上登録することが出来ません

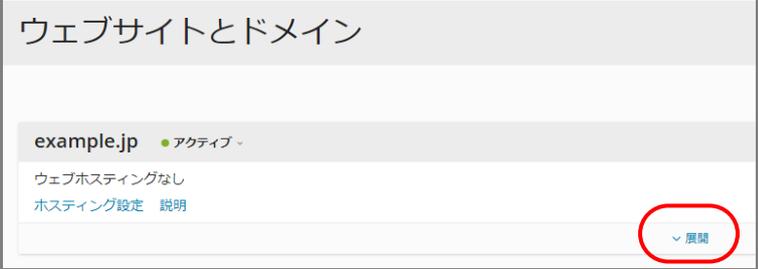
#### ●設定内容については RFC に準拠したレコードを登録可能とします。

- ホスト名として使用可能な文字
  - ・英字(A~Z,a~z)、数字(0~9)、ハイフン(-)
  - (ラベルの先頭及び、末尾の文字にハイフンは利用不可)
- 登録できない実例
  - ・MX レコード、NS レコードが指定する FQDN が CNAME となっている
  - ・同一ゾーン内での多重 CNAME 設定(CNAME で設定しているホストをさらに CNAME で記載すること)
  - ・”a\_b” のように、”\_(アンダースコア)” の入った A レコード、NS レコード等

※詳細に関しては DNS の技術書をご参考下さい

## 【DNS レコードの編集方法】

### <DNS 設定ページへアクセスする>

 <p>ウェブサイトとドメイン</p> <p>example.jp ● アクティブ</p> <p>ウェブホスティングなし ホスティング設定 説明</p> <p>▼ 展開</p>	<p>(1) WEB インタフェースのホーム画面にある下矢印「▼展開」をクリックします</p> <p>「DNS 設定」ボタンが表示されます</p>
 <p>ウェブサイトとドメイン</p> <p>example.jp ● アクティブ</p> <p>ウェブホスティングなし ホスティング設定 説明</p> <p>ホスティング設定 DNS 設定 SSL/TLS 証明書</p>	<p>(2) 「DNS 設定」ボタンをクリックします</p> <p>※「ホスティング設定」「SSL/TLS 証明書」ボタンは利用できません</p>

## <DNS 設定ページ>



### ① 「設定」

SOA レコード情報を編集する場合に利用します。

### ② 「無効化」

DNS 機能を無効化することが可能です。

**※誤って無効化しますと DNS サービスに支障が出ますので、無効化されないようお願い致します**

### ③ 「スレーブに切り替える」

DNS サービスモードの変更が可能です。

**※誤って変更しますと DNS サービスに支障が出ますので、変更されないようお願い致します**

### ④ 「レコードを追加」

新しいレコードを作る場合に利用します。

### ⑤ 「デフォルトにリセット」

登録されている DNS 情報を空にします。

**※誤って実施しますと登録されている情報が消えてしまい、復元できない状態となりますのでご注意ください**

### ⑥ 「削除」

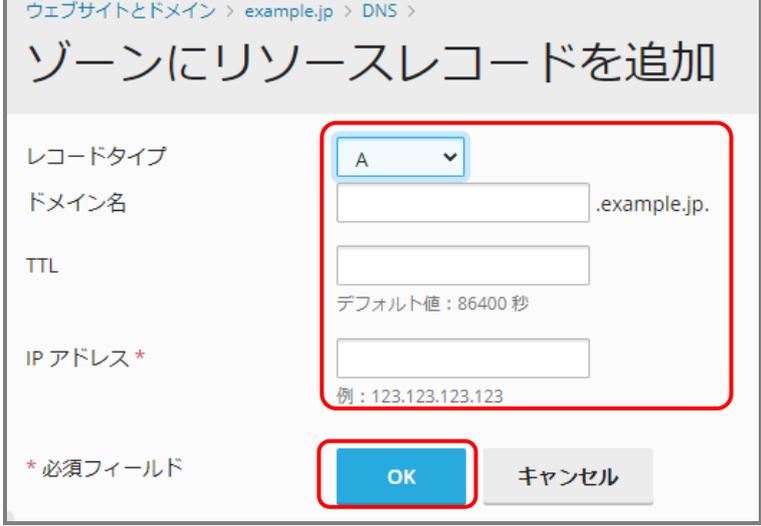
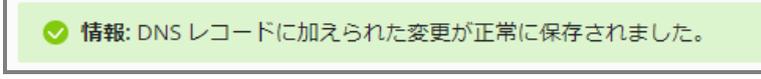
登録したレコードを削除する場合に利用します。

### ⑦ 契約ドメイン名の NS レコード

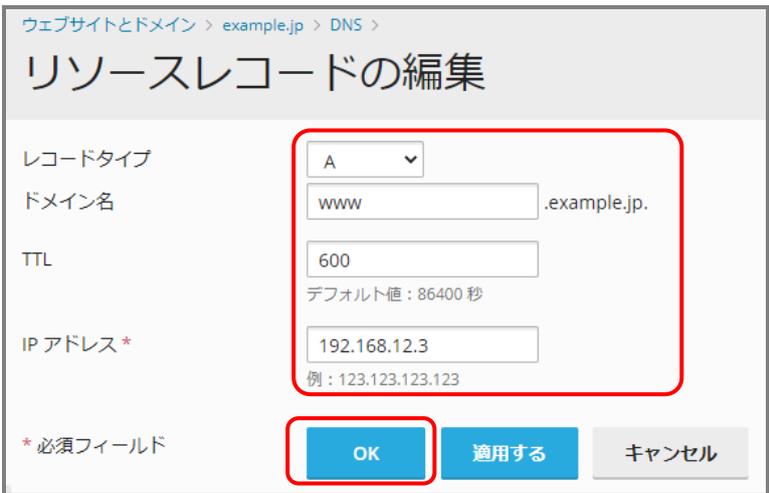
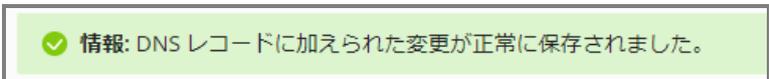
契約ドメイン名の NS レコードがあらかじめ登録されています。

**※誤って削除や他のホスト名に変更しますと DNS サービスに支障が出ますので、削除・変更をされないようお願い致します**

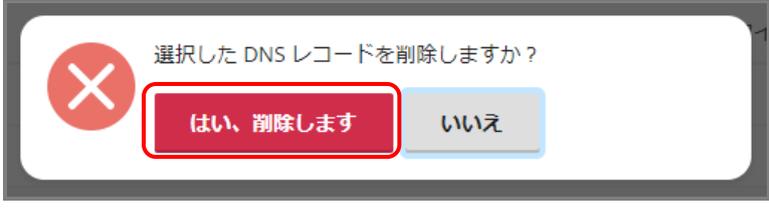
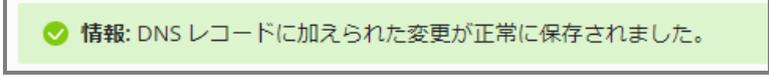
### <レコードの追加>

	<p>(1) レコードを追加</p> <p>「レコードを追加」アイコンをクリックします</p>
	<p>(2) 追加情報の登録</p> <p>追加したい「レコードタイプ」を選択します</p> <p>※レコードタイプを変更すると下の記述がタイプに応じて変化します</p> <p>登録したい情報を記入後「OK」ボタンをクリックします</p>
	<p>(3) 追加情報反映の確認</p> <p>追加した情報に <b>!</b> が付与され一覧に登録されます 登録内容に誤りが無ければ「更新」をクリックしてください</p> <p>※ 「更新」をクリックするまで情報は画面上にのみ登録された状態で、DNS への登録は反映されておりません</p> <p>※ 「戻す」をクリックすると登録を取り消せます</p> <p>※ 追加の内容は当社サーバ内では即時反映されますが、TTL の関係上インターネット上のキャッシュ DNS サーバへの反映には時間を要しますのでご注意ください</p>
	<p>(4) レコードの追加は完了です</p>

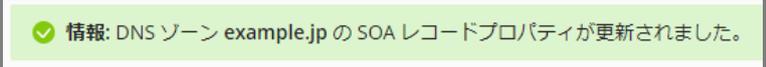
## <レコードの情報変更>

	<p>(1) 変更したいホストを指定</p> <p>情報を変更したい対象ホストのハイパーリンクをクリックします</p>
	<p>(2) 情報を修正</p> <p>変更したい情報を修正し「OK」をクリックします</p>
	<p>(3) 変更情報反映の確認</p> <p>変更した情報に  が付与されます 変更内容に誤りが無ければ「更新」をクリックしてください</p> <p>※ 「更新」をクリックするまで情報は画面上のみ変更された状態で、DNS への変更は反映されておられません</p> <p>※ 「戻す」をクリックすると変更を取り消せます</p> <p>※ 変更の内容は当社サーバ内では即時反映されますが、TTL の関係上インターネット上のキャッシュ DNS サーバへの反映には時間を要しますのでご注意ください</p>
	<p>(4) レコードの情報変更は完了です</p>

### <レコードの削除>

	<p>(1) 削除したい対象を選択</p> <p>レコードの一覧より削除したいレコードにチェックを入れ、「削除」をクリックします</p>
	<p>(2) 削除対象の確認</p> <p>確認の上「はい、削除します」をクリックします</p>
	<p>(3) 削除情報反映の確認</p> <p>削除した情報に取り消し線が引かれ  <span style="color: red;">!</span> が付与されます                  内容に問題が無ければ「更新」をクリックしてください</p> <p style="color: red;">※ 「更新」をクリックするまで DNS への削除は反映されておりません</p> <p>※ 「戻す」をクリックすると削除を取り消せます</p> <p>※ 削除の内容は当社サーバ内では即時反映されますが、TTL の関係上インターネット上のキャッシュ DNS サーバへの反映には時間を要しますのでご注意ください</p>
	<p>(4) レコードの削除は完了です</p>

### <SOA レコードの編集>

	<p>(1) SOA レコードの編集</p> <p>「設定」アイコンをクリックします</p>
	<p>(2) 情報の編集</p> <p>変更したい内容を編集して「OK」をクリックします</p> <p>※SOA の編集は変更の確認無く反映しますのでご注意ください</p> <p><b>DNS ゾーンのシリアル番号フォーマット チェックボックスを外すと不具合が発生します しますのでご注意ください。</b></p>
	<p>(3) SOA レコードの編集は完了です</p>

- ①・・・SOA に記載されるプライマリネームサーバを指定  
※ こちらの値は初期値から変更されないようお願いいたします
  - ②・・・キャッシュ DNS サーバがそのレコードをキャッシュに保存している時間  
最小値は 10 分(600 秒)で設定をお願いいたします
  - ③・・・セカンダリ DNS が変更内容を確認する時間
  - ④・・・セカンダリ DNS がプライマリ DNS と正常に通信できなかった場合に再度問い合わせする時間
  - ⑤・・・セカンダリ DNS がプライマリ DNS と通信できなくなってから情報を無効とするまでの時間  
※ 2 週間未満に設定された場合、当社仕様により 2 週間へ強制的に変更されます
  - ⑥・・・レコードが無いという情報の保持時間
- ※詳細に関しては DNS の技術書をご参考下さい。

## <各レコードの登録方法>

レコードの設定値や内容について、詳しくは DNS の技術書をご参考ください

<p>ウェブサイトとドメイン &gt; example.jp &gt; DNS &gt;</p> <h3>ゾーンにリソースレコードを追加</h3> <p>レコードタイプ <input type="text" value="A"/></p> <p>ドメイン名 <input type="text" value=""/>.example.jp.</p> <p>TTL <input type="text"/> デフォルト値 : 86400 秒</p> <p>IP アドレス * <input type="text"/> 例 : 123.123.123.123</p> <p>* 必須フィールド</p> <p><input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/></p>	<p>◆Aレコード</p> <p>ドメイン名…ホスト名となる文字列を入力(不要な場合は空欄で可) 例) www や pop など</p> <p>TTL…レコード毎に TTL を設定する場合は数字を入力(空欄の場合はデフォルト値で設定されます) TTL の最小値は 10 分(600 秒)で設定をお願いいたします</p> <p>IP アドレス…対象の IP アドレスを入力</p>
<p>ウェブサイトとドメイン &gt; example.jp &gt; DNS &gt;</p> <h3>ゾーンにリソースレコードを追加</h3> <p>レコードタイプ <input type="text" value="AAAA"/></p> <p>ドメイン名 <input type="text" value=""/>.example.jp.</p> <p>TTL <input type="text"/> デフォルト値 : 86400 秒</p> <p>IPv6 アドレス * <input type="text"/> 例 : 2002:7b7b:7b7b::1</p> <p>* 必須フィールド</p> <p><input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/></p>	<p>◆AAAAレコード</p> <p>ドメイン名…ホスト名となる文字列を入力(不要な場合は空欄で可)</p> <p>TTL…レコード毎に TTL を設定する場合は数字を入力(空欄の場合はデフォルト値で設定されます) TTL の最小値は 10 分(600 秒)で設定をお願いいたします</p> <p>IPv6 アドレス…対象の IPv6 アドレスを入力</p>

<p>ウェブサイトとドメイン &gt; example.jp &gt; DNS &gt;</p> <h2>ゾーンにリソースレコードを追加</h2> <p>レコードタイプ <input type="text" value="CNAME"/></p> <p>ドメイン名 <input type="text"/>.example.jp.</p> <p>TTL <input type="text"/> デフォルト値 : 86400 秒</p> <p>正規名 * <input type="text"/></p> <p>* 必須フィールド</p> <p><input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/></p>	<p>◆CNAME レコード</p> <p><b>ドメイン名</b>…ホスト名となる文字列を入力</p> <p><b>TTL</b>…レコード毎に TTL を設定する場合は数字を入力(空欄の場合はデフォルト値で設定されます) TTL の最小値は 10 分(600 秒)で設定をお願いいたします</p> <p><b>正規名</b>…対象ホスト名を入力 ※最後の「.(ドット)」は入力不要</p>
<p>ウェブサイトとドメイン &gt; example.jp &gt; DNS &gt;</p> <h2>ゾーンにリソースレコードを追加</h2> <p>レコードタイプ <input type="text" value="MX"/></p> <p>メールドメイン <input type="text"/>.example.jp.</p> <p>TTL <input type="text"/> デフォルト値 : 86400 秒</p> <p>メールエクスチェンジサーバ <input type="text"/></p> <p>メールエクスチェンジサーバの優先度を指定 <input type="text" value="最高 (0)"/></p> <p>* 必須フィールド</p> <p><input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/></p>	<p>◆MX レコード</p> <p><b>メールドメイン</b>…メールで利用するドメインのホスト名となる文字列を入力(不要な場合は空欄で可)</p> <p><b>TTL</b>…レコード毎に TTL を設定する場合は数字を入力(空欄の場合はデフォルト値で設定されます) TTL の最小値は 10 分(600 秒)で設定をお願いいたします</p> <p><b>メールエクスチェンジサーバ</b>…メールサーバのホスト名を入力 ※最後の「.(ドット)」は入力不要</p> <p><b>メールエクスチェンジサーバの優先度を指定してください</b>…MX レコードの優先度(Preference 値)を選択(0~50 の 5 刻み)</p>

<p>ウェブサイトとドメイン &gt; example.jp &gt; DNS &gt;</p> <h2>ゾーンにリソースレコードを追加</h2> <p>レコードタイプ <input type="text" value="TXT"/></p> <p>ドメイン名 <input type="text"/> .example.jp.</p> <p>TTL <input type="text"/> デフォルト値: 86400 秒</p> <p>TXT レコード <input type="text"/></p> <p>* 必須フィールド</p> <p><input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/></p>	<p>◆TXT レコード</p> <p><b>ドメイン名</b>…ホスト名となる文字列を入力(不要な場合は空欄で可)</p> <p><b>TTL</b>…レコード毎に TTL を設定する場合は数字を入力(空欄の場合はデフォルト値で設定されます) TTL の最小値は 10 分 (600 秒) で設定をお願いいたします</p> <p><b>TXT レコード</b>…設定する TXT レコードを入力 ※TXT レコードの前後に必要な「”(ダブルクォーテーション)」は自動登録されるため入力不要</p>
<p>ウェブサイトとドメイン &gt; example.jp &gt; DNS &gt;</p> <h2>ゾーンにリソースレコードを追加</h2> <p>レコードタイプ <input type="text" value="SRV"/></p> <p>TTL <input type="text"/> デフォルト値: 86400 秒</p> <p>サービス名 * <input type="text"/> 例: SIP</p> <p>プロトコル * <input type="text"/></p> <p>ドメイン名 <input type="text"/> .example.jp.</p> <p>優先度 <input type="text" value="最高 (0)"/></p> <p>同じ優先度のレコードに対する相対的な重み <input type="text" value="10"/></p> <p>ターゲットホスト <input type="text"/></p> <p>ターゲットポート * <input type="text"/></p> <p>* 必須フィールド</p> <p><input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/></p>	<p>◆SRV レコード</p> <p><b>TTL</b>…レコード毎に TTL を設定する場合は数字を入力(空欄の場合はデフォルト値で設定されます) TTL の最小値は 10 分 (600 秒) で設定をお願いいたします</p> <p><b>サービス名</b>…対象のサービス名を入力 ※サービス名の前に登録が必要な「_(アンダーバー)」は自動登録されるため入力不要</p> <p><b>プロトコル</b>…使用するプロトコルを入力 ※プロトコルの前に登録が必要な「_(アンダーバー)」は自動登録されるため入力不要</p> <p><b>ドメイン名</b>…ホスト名となる文字列を入力(不要な場合は空欄で可)</p> <p><b>優先度</b>…優先度 (Priority 値) を選択 (0 ~ 50 の 5 刻み)</p> <p><b>同じ優先度のレコードの相対的な重み</b>…重みづけ (Weight 値) を選択 (0 ~ 50 の 5 刻み)</p> <p><b>ターゲットホスト</b>…サービスを提供しているサーバのホスト名を入力 ※最後の「.(ドット)」は入力不要</p> <p><b>ターゲットポート</b>…サービスを提供するポート番号を入力</p>

<p>ウェブサイトとドメイン &gt; example.jp &gt; DNS &gt;</p> <h2>ゾーンにリソースレコードを追加</h2> <p>レコードタイプ <input type="text" value="NS"/></p> <p>ドメイン名 <input type="text" value="example.jp"/> .example.jp.</p> <p>TTL <input type="text"/> デフォルト値 : 86400 秒</p> <p>ネームサーバ* <input type="text"/></p> <p>* 必須フィールド</p> <p><input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/></p>	<p>◆NS レコード</p> <p><b>ドメイン名</b>…サブドメインのホスト名となる文字列を入力</p> <p><b>TTL</b>…レコード毎に TTL を設定する場合は数字を入力(空欄の場合はデフォルト値で設定されます) TTL の最小値は 10 分(600 秒)で設定をお願いいたします</p> <p><b>ネームサーバ</b>…サブドメインで使用するネームサーバのホスト名を入力 ※最後の「.(ドット)」は入力不要</p>
<p>ウェブサイトとドメイン &gt; example.jp &gt; DNS &gt;</p> <h2>ゾーンにリソースレコードを追加</h2> <p>レコードタイプ <input type="text" value="CAA"/></p> <p>ドメイン名 <input type="text" value="example.jp"/> .example.jp.</p> <p>TTL <input type="text"/> デフォルト値 : 86400 秒</p> <p>タグ <input type="text" value="issue"/></p> <p>値 <input type="text"/></p> <p>* 必須フィールド</p> <p><input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/></p>	<p>◆CAA レコード</p> <p><b>ドメイン名</b>…ホスト名となる文字列を入力(不要な場合は空欄で可)</p> <p><b>TTL</b>…レコード毎に TTL を設定する場合は数字を入力(空欄の場合はデフォルト値で設定されます) TTL の最小値は 10 分(600 秒)で設定をお願いいたします</p> <p><b>タグ</b>…対象のタグを選択 issue…サーバー証明書全般の発行を許可する認証局を指定 issuewild…ワイルドカード証明書の発行を許可する認証局を指定 iodef…発行を許可しない CA に証明書発行要求があった場合の連絡手段</p> <p><b>値</b>…各認証局のコモンネームや通知先の URL またはメールアドレスを入力 ※flag は自動的に「0」が付与されます</p>

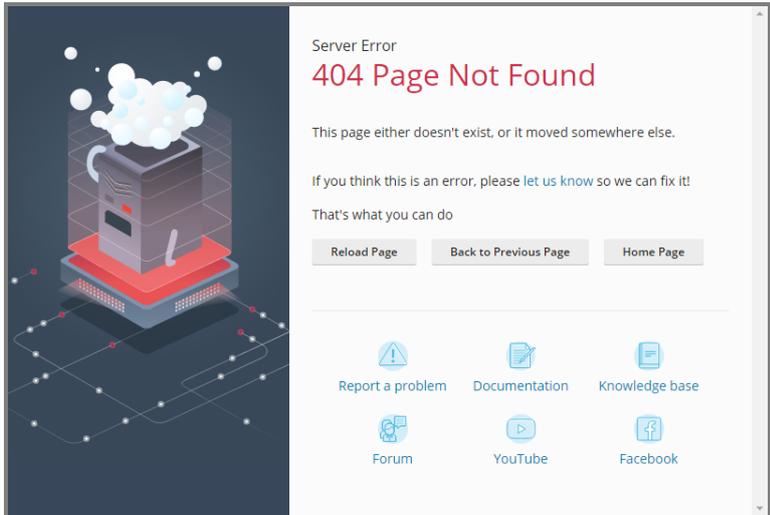
<p>ウェブサイトとドメイン &gt; example.jp &gt; DNS &gt;</p> <h2>ゾーンにリソースレコードを追加</h2> <p>レコードタイプ <input type="text" value="PTR"/></p> <p>TTL <input type="text"/> デフォルト値 : 86400 秒</p> <p>IP アドレス * <input type="text"/> / <input type="text"/> 例 : 2002:7b7b:7b7b::1/48、123.123.123.123/16</p> <p>ドメイン名 <input type="text"/>.example.jp.</p> <p>* 必須フィールド</p> <p><input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/></p>	<p>◆PTR レコード</p> <p>このレコードタイプは利用できません</p>
<p>ウェブサイトとドメイン &gt; example.jp &gt; DNS &gt;</p> <h2>ゾーンにリソースレコードを追加</h2> <p>レコードタイプ <input type="text" value="DS"/></p> <p>ドメイン名 <input type="text"/>.example.jp.</p> <p>TTL <input type="text"/> デフォルト値 : 86400 秒</p> <p>DS レコード <input type="text"/> 例 : 60485 5 1 2BB183AF5F22588179A53B0A98631FAD1A292118</p> <p>* 必須フィールド</p> <p><input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/></p>	<p>◆DS レコード</p> <p>このレコードタイプは利用できません</p>

## 5. 表示モードの変更方法

 <p>ウェブサイトとドメイン</p> <p>全1件</p> <p>ドメイン名 ↑ ステータス タイプ</p> <p>example.jp ● アクティブ ↓ ウェブホスティングなし</p> <p>ディスク使用量 0 MB      ダッシュボード</p> <p>トラフィック 0 MB/月      セキュリティ</p> <p>SSL/TLS 証明書</p> <p>ウェブホスティングなし      説明を追加</p>	<p>&lt;動的リスト画面の場合&gt;</p> <p>「ビュー変更」をクリックし、表示させたいモードを選択</p>
 <p>ウェブサイトとドメイン</p> <p>example.jp ● アクティブ ↓</p> <p>ウェブホスティングなし</p> <p>ホスティング設定 説明</p> <p>ホスティング設定      DNS 設定      SSL/TLS</p>	<p>&lt;アクティブリスト画面の場合&gt;</p> <p>ツールボタンをクリックし、表示させたいモードを選択</p>
 <p>ウェブサイトとドメイン</p> <p>全1件      ページあたりのエントリー数</p> <p>ドメイン ↑      ホスティング      ディスク使用量      トラフィック</p> <p>example.jp      ウェブホスティングなし      0 MB      0 MB/月</p> <p>全1件      ページあたりのエントリー数: 10 25 100 すべて</p>	<p>&lt;クラシックリスト画面の場合&gt;</p> <p>ツールボタンをクリックし、表示させたいモードを選択</p>

## 6. その他注意事項

### ログインページのロゴのリンク先エラー

 <p>The screenshot shows the SoftBank login interface. At the top, the SoftBank logo is displayed within a red rectangular border. Below the logo are input fields for 'ユーザ名' (Username) and 'パスワード' (Password), a dropdown menu for 'インターフェース言語' (Interface Language) set to 'デフォルト' (Default), a link for 'パスワードを忘れた場合' (Forgot your password?), and a blue 'ログイン' (Login) button. A 'Cookie' link is visible at the bottom left.</p>	<p>ログインページのロゴをクリックすると、新しいタブにエラーページが表示されますが、ソフトウェアによる不具合ですので、クリックされないようお願い致します。 今後、修正対応を予定しております。</p>
 <p>The screenshot shows a 404 error page with the title 'Server Error 404 Page Not Found'. The text explains that the page either doesn't exist or has moved. It includes a link to report the problem and buttons for 'Reload Page', 'Back to Previous Page', and 'Home Page'. At the bottom, there are icons for 'Report a problem', 'Documentation', 'Knowledge base', 'Forum', 'YouTube', and 'Facebook'.</p>	

### 管理画面のロゴのリンク先エラー

 <p>The screenshot shows the SoftBank management interface. The logo 'SoftBank' is highlighted with a red rectangular box. The page title is 'ウェブサイトとドメイン' (Websites and Domains). Below the title, there is a search bar and a list of domains. The first domain is 'example.jp', which is marked as 'アクティブ' (Active). Below the domain name, it says 'ウェブホスティングなし' (No web hosting) and provides links for 'ホスティング設定' (Hosting settings) and '説明' (Description).</p>	<p>管理画面のロゴをクリックすると、新しいタブに管理画面とエラーメッセージが表示されますが、ソフトウェアによる不具合ですので、クリックされないようお願い致します。          今後、修正対応を予定しております。</p>
 <p>The screenshot shows the same SoftBank management interface as above. However, an error message is displayed in a red box: 'エラー: 無効な URL が要求されました。' (Error: Invalid URL requested). The error message is highlighted with a red rectangular box. The rest of the interface, including the logo and domain list, remains the same.</p>	